

事務事業名	ヴァンフォーレ甲府の活動支援事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12345							
			所属課室	生涯学習課		課長名	新津 岳							
	☐ 実施計画事業		所属担当	社会体育		担当者名	今村繁樹							
基本政策	基本計画体系	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
		26	文化づくりの推進		01	一般	1	0	0	5	0	1	0	2
政策	施策	40	スポーツ・レクリエーション活動の推進	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金									
事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠									
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ヴァンフォーレ甲府への支援を通して地域の活性化を図るため、ホームゲーム(小瀬開催試合)の1試合を南アルプスサンクスデーと銘打ち、来場者及び両チームに市特産品を配布しPRを行う。 また、エスコートキッズ(幼児)、ボールボーイ(中学生)等により試合運営を支援する。			事業費の主な内訳 (22年度)										
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)				
				来場者等報償		104								
				計		104								

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	8月29日南アルプス市サンクスデー開催 先着者に特産品配布、エスコートキッズ、ボールボーイ参加
23年度活動予定	8月24日南アルプス市サンクスデー開催 先着者に特産品配布、エスコートキッズ、ボールボーイ参加
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
ヴァンフォーレ甲府 市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
山梨県をホームにしているヴァンフォーレ甲府の応援を通じてプロサッカーを身近なものに感じるとともに、サッカーファンを増やす。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
ヴァンフォーレ甲府の支援を通して、地域を活性化する。	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 記念品配布数	人
イ エスコートキッズ・ボールボーイ数	人
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 当日の入場者数	人
イ 人口	人
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 協力した児童生徒数	人
イ 招待券の入場者数	人
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア サポーター数	人
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)	
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			一般財源	千円	139	104	434	260	260	260		
	事業費計 (A)			千円	139	104	434	260	260	260	0	
	人件費		正規職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3		
			延べ業務時間	時間	30	30	40	30	30	30		
			人件費計 (B)	千円	134	134	158	119	119	119	0	
			(A)+(B)			千円	273	238	592	379	379	0
			活動指標	ア	人		300.0	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0
	イ				39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0		
対象指標	ア	人		8,000.0								
		イ		72,000.0	72,000.0	72,000.0	72,000.0	73,000.0	73,000.0			
成果指標	ア	人		50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0			
		イ		700.0	700.0	180.0	180.0	180.0	180.0			
上位成果指標	ア	人										
		イ										

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	新市発足とともに、ホームタウンとしてヴァンフォーレ甲府の支援活動を通じて市の活性化を図る
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	サッカーファンが増えてきている。スポーツを通じた青少年の健全育成に加え、観光協会ともタイアップしホームゲームでの相手チームのサポーター等を通じたPR活動により市のイメージアップを図る。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	参加した児童生徒らは、プロの試合運営に参加できてうれしかった

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	これまで行ってきた試合開始前の市特産品の配布や両チームへの記念品の贈呈の他、H23年度は市PR用のウチワを作成し配布
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	ヴァンフォーレ甲府の活動支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 ヴァンフォーレ甲府への支援を活用し市の産業やスポーツの活性化
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 市のスポーツ振興や活性化につながる
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 県内のプロチームであり、ホームタウンとなっている。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 関係課との連携による市の観光等のPR活動の展開
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 サンクスデーが開催できない ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市が、ホームタウンとなっている
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 少ないコストとなっている
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方を見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限にとどめている。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民や、観戦に来てくれたサッカーファンを対象としている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	H23年度は観光協会とタイアップしてヴァンフォーレと交渉してホームタウンゲーム以外でもうちわ配布やさくらんぼパンフレット配布等のPR活動を行った。ヴァンフォーレでも従来の他自治体では実施してこなかった自治体PR活動に協力してくれた。このPR活動成果はすぐには出てこないため、しばらく継続して実施する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
①より目新しい自治体PR活動の検討																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①ヴァンフォーレとの連携を深める		成果優先度評価結果																						
②		⑪																						
③		コスト削減優先度評価結果																						
		⑥																						